

◎ 正一位 伊豫稻荷神社

御鎮座千二百年 記念奉祝祭

平安初期より千二百年間の祈りの響きが籠る稲荷山 稲荷大神の末永き御鎮座と益々の御神徳を願い



記念事業

御奉賛の お願い

記念事業計画

- 一、御鎮座千二百年記念奉祝祭の斎行
(令和五年五月吉日予定)

- 一、玉垣の改修
- 一、駐車場の新設
- 一、お手洗いの改修
- 一、宝物館内の修繕と維持管理
- 一、災害に対する備え、殿内・境内の修繕整備
(バリアフリー設備等)

奉賛待遇

- ◆ 奉賛金三十万円以上、玉垣に御芳名を掲載
- ◆ 奉賛金二万円以上、銅板に御芳名を掲載
- ◆ 他待遇あり

<楼門周辺玉垣の完成予想図>

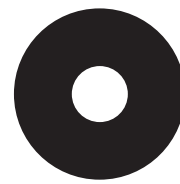


玉垣改修事業計画の一部

御奉賛を検討の方は事務局まで
趣意書をご送付致します

正一位 伊豫稲荷神社 「御鎮座千二百年記念奉祝祭」奉賛会

事務局 〒799-3121 伊予市稲荷1236番地 電話(事務局) 070-7788-1200 (宮司宅)089-982-1060



正一位伊豫稻荷神社

「御鎮座千二百年記念奉祝祭」

記念事業 御奉賛のお願い

令和三年五月吉日

正一位 伊豫稻荷神社

「御鎮座千二百年記念奉祝祭」 奉賛趣意書

伊豫稻荷神社は、嵯峨天皇の御代（弘仁十四年頃・八二三年頃）に、伊豫国司がこの地に今の伏見稻荷大社の大神を齋き祀ったとされ、令和五年で御鎮座千二百年の佳節を迎えます。稻荷大神様は、萬民豊樂の神と称えられ、御鎮座よりこの方、河野家や大洲新谷両藩主を始め広く南予中予の国民たちに御神徳を仰がれてきました。ここに御鎮座千二百年記念を奉祝せんと奉賛会を設立し、記念事業としてお社を整えて奉祝の大祭を行いたく存じます。

境内を取り巻く状況は、玉垣の経年劣化により隣接道路通行の危険が憂慮され、お手洗いや駐車場、身体の不自由な方への設備も十分ではありません。又、宝物館は老朽化対策を要し現在閉館を余儀なくされております。更に、近年予測される地震や豪雨・大型台風の災害に対する備えを整え、千二百年祭を祝い末永き御鎮座を願って益々の御守りを願いたく存じます。

就きましては、令和五年の奉祝祭に向けて記念事業を進めて参りたく、謹んで御浄財の御寄進を仰ぐ次第でございます。

正一位 伊豫稻荷神社

「御鎮座千二百年記念奉祝祭」奉賛会

会長 中村 佑
宮司 星野 暢廣

— 記念事業計画 —

一、御鎮座千二百年記念奉祝祭の斎行

(令和五年五月吉日)

一、玉垣の改修

一、駐車場の新設

一、お手洗いの改修

一、宝物館内の修繕と維持管理

(宝物館限定のご寄付も承ります)

一、災害に対する備え、殿内・境内の修繕整備
(バリアフリー設備等)

※事業は工期を分けて実施予定

— 募財目標 —

八千五百万円

— 募財期間 —

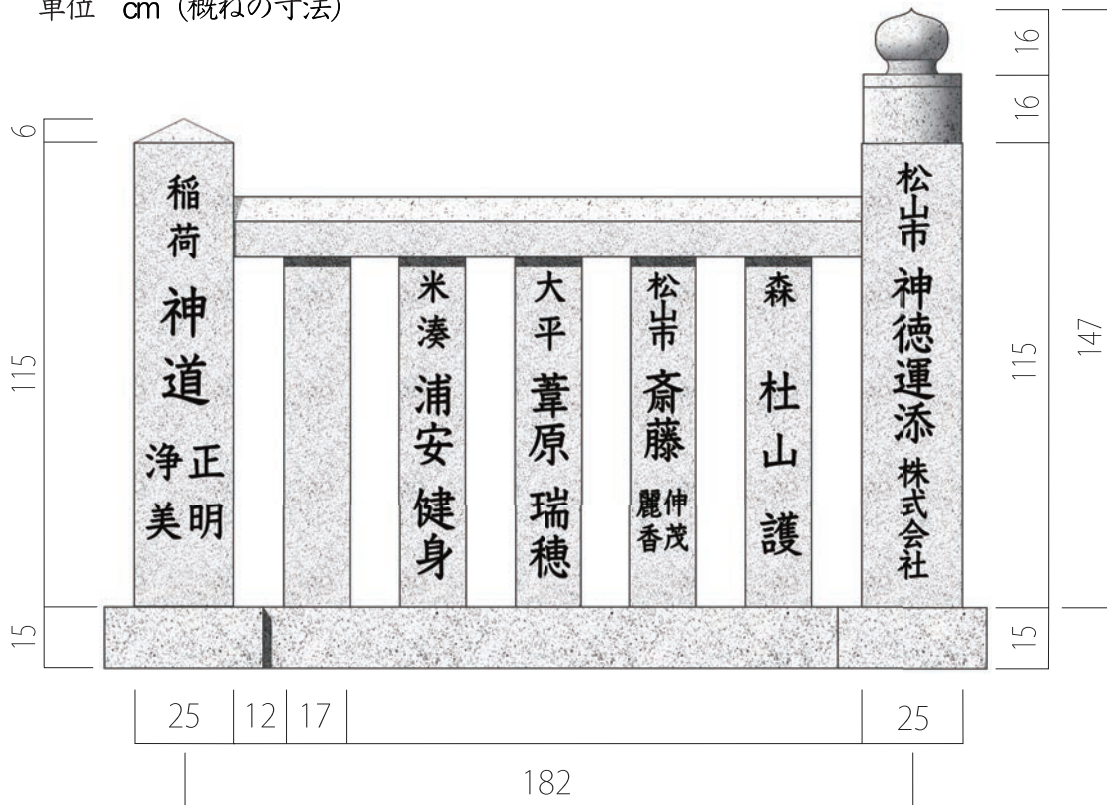
令和三年五月から令和五年三月まで

奉賛待遇

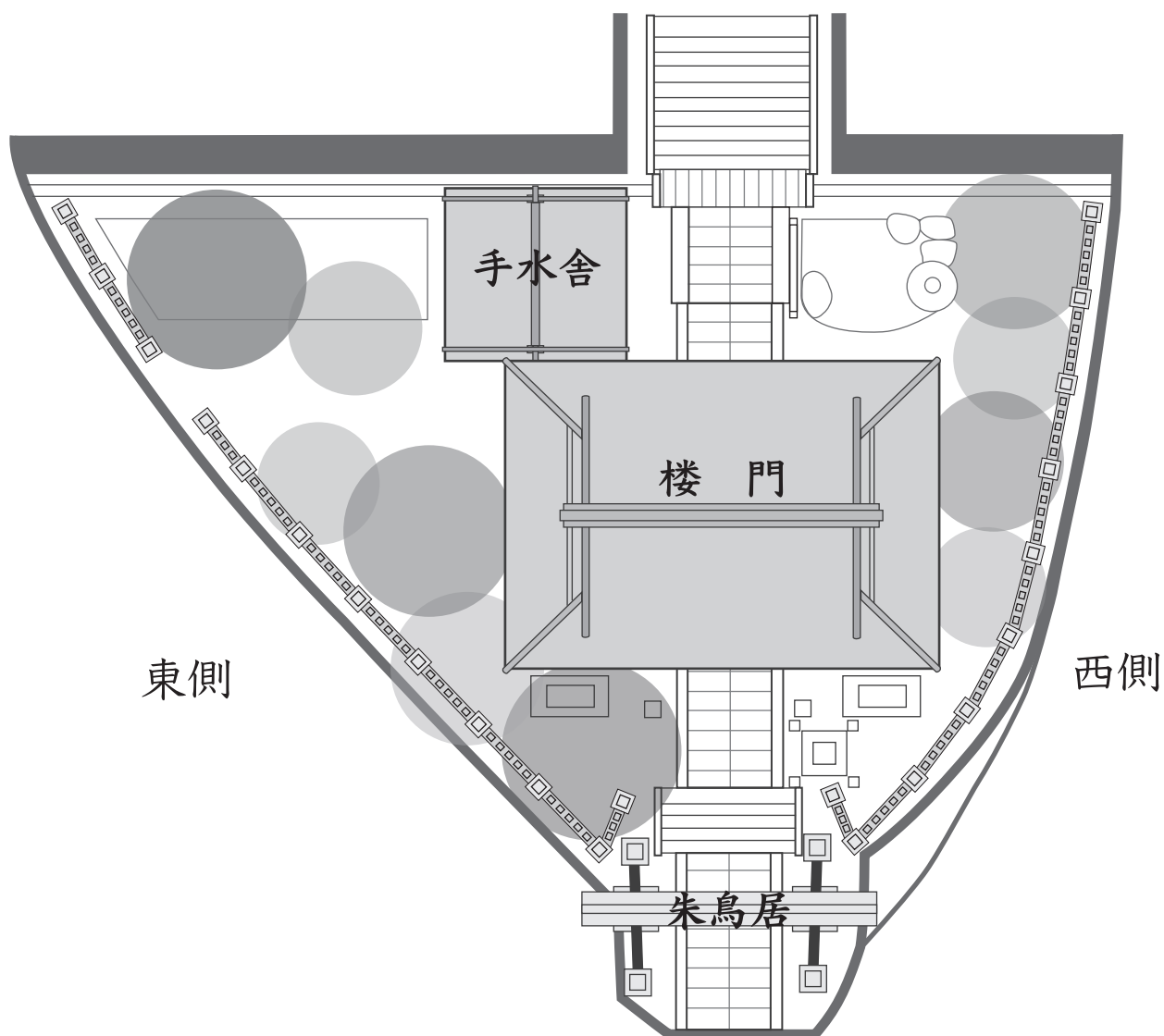
奉賛金	御芳名 掲載		奉祝祭 案内	記念品 贈呈	御神札
300万円以上	玉垣	銅板	奉祝祭 案内	特別記念品	木札 1
200万円以上					
100万円以上				記念品 1	木札 2
50万円以上					
30万円以上	記念品 2				
10万円以上					
5万円以上	記念品 3			木札 3	
1万円以上					
2千円以上	記念品 4				

玉垣芳名の掲載例

単位 cm (概ねの寸法)



楼門周辺玉垣の配置図



- ・工事の都合により玉垣の本数が変わることがあります
- ・玉垣の位置に関しては神社側にご一任ください

楼門周辺玉垣の完成予想図



奉賛者ご本人控え（メモ欄）

申込日

氏名等

入金方法

その他

返信用封筒に入れてご返送ください

切り取り線

正一位 伊豫稻荷神社
「御鎮座千二百年記念奉祝祭」御奉賛申込書

一、金 円を奉納致します。
印

令和 年 月 日

会社・団体		個人		御住所 所在地
代表者名	会社名 団体名	御芳名 (夫婦連名 も承ります)		
ふりがな	ふりがな	ふりがな		〒
電話番号				

正一位 伊豫稻荷神社
「御鎮座千二百年記念奉祝祭」奉賛会

会長 中村 佑 殿

【ご入金の方法】

ご入金方法をお選びください。(ご希望の にレ印をつけて下さい)

- 奉祝祭奉賛会事務局へ現金でご入金 (事務局の連絡先は裏表紙を参照)
- 奉祝祭奉賛会役員を通してご入金 役員名 _____
・高額の場合は事務局又は、金融機関よりご入金頂きますようお願い致します。
- 以下の各金融機関よりご入金
・恐れ入りますが、振込手数料はご負担頂きますようお願い致します。
 - 伊予銀行 郡中支店 普通預金 1901117
 - 愛媛銀行 郡中支店 普通預金 4009035
 - 愛媛信用金庫 郡中支店 普通預金 0218816
 - えひめ中央農業協同組合 伊予中央支所 普通預金 0039898

振込口座	伊豫稻荷神社 「御鎮座1200年記念奉祝祭」奉賛会 会長 中村 佑
------	--------------------------------------

■ 蛇の目紋について



江戸時代、当社は大洲藩主加藤家の祈願所として仰がれ、毎年家老が幣帛（絹の束）を奉り、また加藤家は神社の護持にも力を入れてきました。その大洲藩主加藤家の家紋である「蛇の目紋」が、いつしか神社の社紋となったようです。

■ 正一位の御神位について

享和二年（一八〇二年）に、朝廷から正一位の最高の御神位を賜りました。左の写真は、その時に朝廷より贈られた神額です。

神位とは朝廷から御祭神に与えられた位であり、正一位から従五位までの十五の段階があります。



— お問い合わせ先 —

正一位伊豫稻荷神社

「御鎮座千二百年記念奉祝祭」奉賛会事務局

〒七九九 一 三二二一

愛媛県伊予市稻荷一二三六

電話（事務局） 〇七〇・七七八八・一二〇〇

電話（宮司宅） 〇八九（九八二）一〇六〇

ファックス 〇八九（九九四）五三三二

メールアドレス

1200hosankai@iyoinari.or.jp